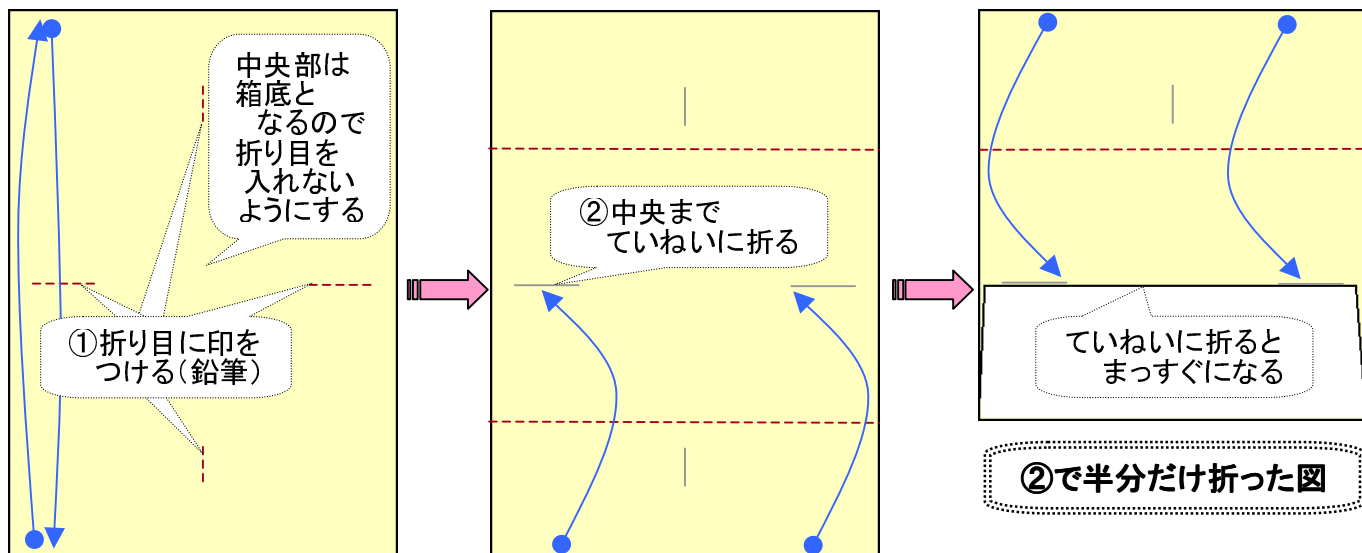
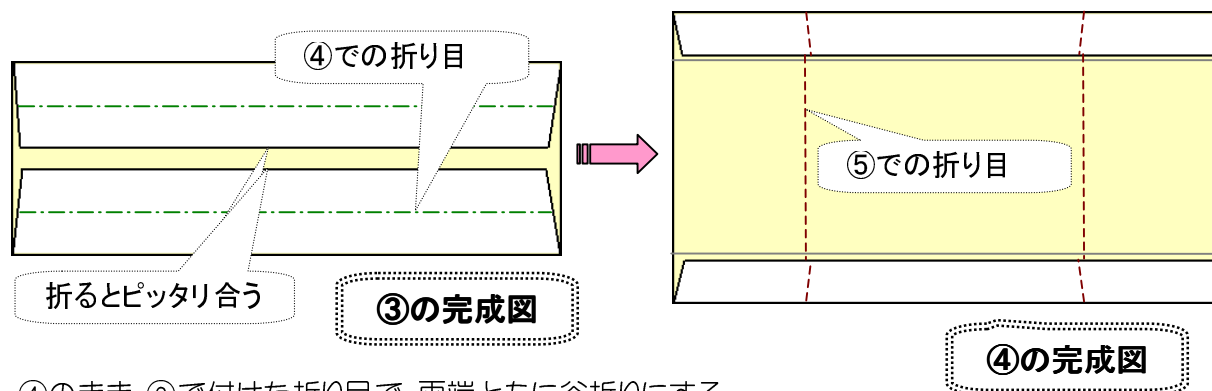


隅三角の干菓子入れ(A4用紙での折り方) B5、A5 でも良い

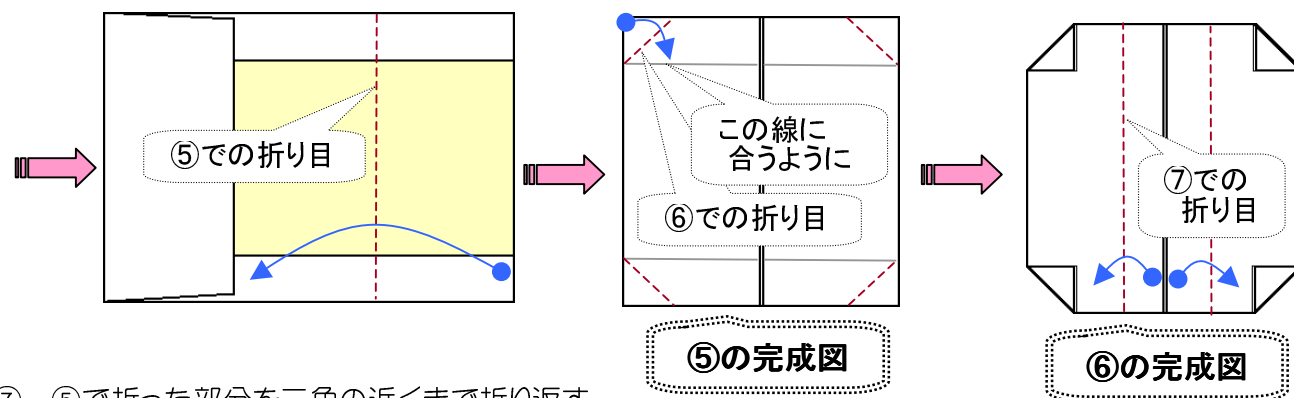
- ① A4の長辺および短辺の半分の位置に鉛筆などで印を入れる。(半分に折り、その折り目を使ってもよい)
- ② ①を広げ、長辺を縦に置き、広げ上下を中央に向けて丁寧に半分に折る。



- ③ ②を広げ、今度は長辺を横に置き、②と同様、中央に向け丁寧に上下を半分に折る。
- ④ ③を広げ、②の折り目のまで上下ともに半分に折る。(注意:決して②の折り目を越えないように)

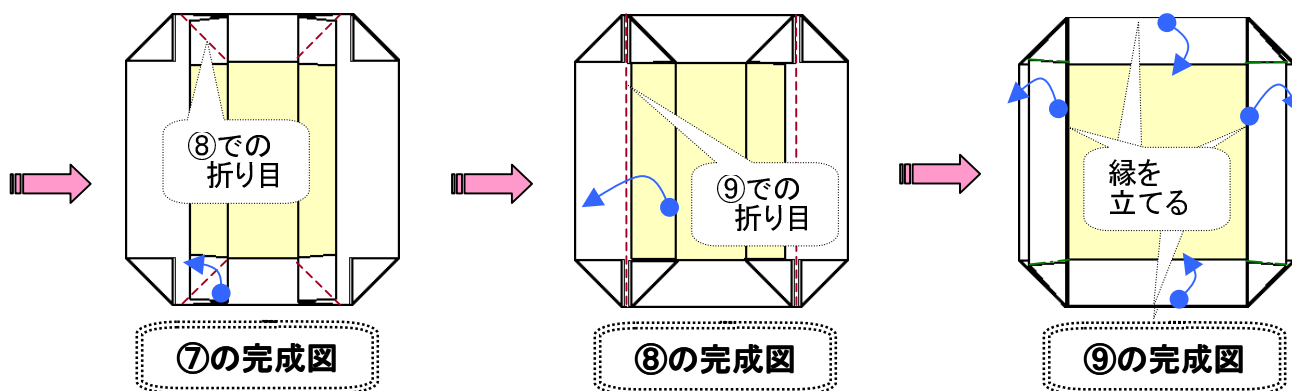


- ⑤ ④のまま、②で付けた折り目で、両端ともに谷折りにする。
- ⑥ ⑤での隅を、図のように④の位置に来るように三角に折る。(谷折りで丁寧に折る。)



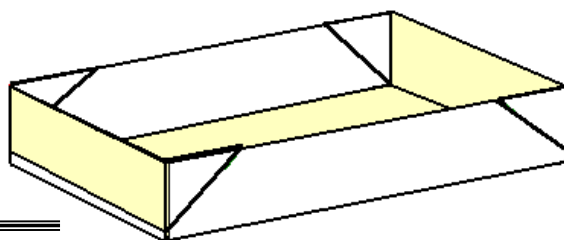
- ⑦ ⑥で折った部分を三角の近くまで折り返す。
(ただし、三角との間に3~5mmほどのすきまができるよう)
- ⑧ 図のように、⑦で折り返した部分の隅を三角に折る。(ただし、⑦でのすきまは確保しておく)

- ⑨ ⑥と⑧でできた三角同士を合わせるように折り返す。(⑦⑧でのすきまは、⑨のために設けたのです)



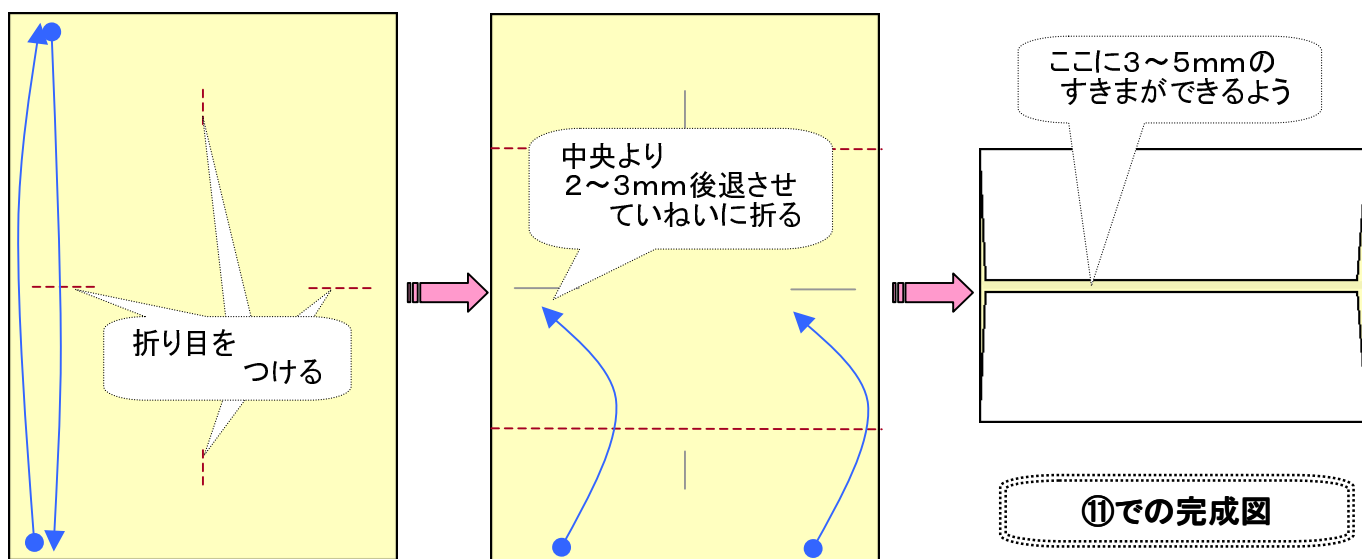
- ⑩ 箱になるよう、縁を立ちあげ形を整える。(底にA4の紙を4つに折ったものを入れ丈夫にしても良い)

隅三角の干菓子入れ
本体の完成図
そのままお盆としても

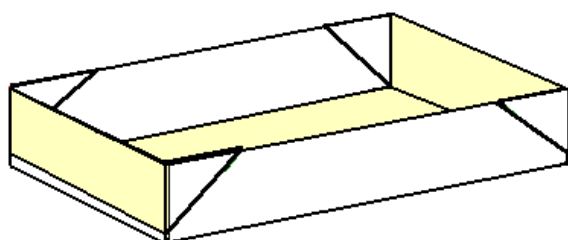


隅三角の干菓子入れのフタについて

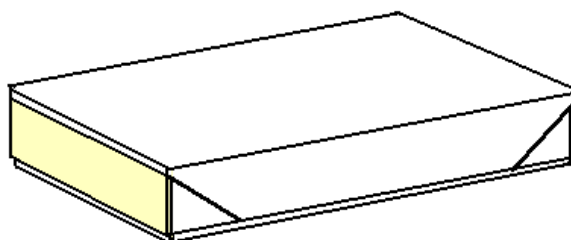
- ⑪ フタは本体より底面が大きくすれば良いので、本体の②の長辺の折り方で、本体は中央で会うように折りましたが、フタの場合は、それより3～5mm離れるように折る。



- ⑫ 本体の③についても、フタの場合は同様の折り方ですが、中央が3～5mm離れるように折ります。
- ⑬ 以下本体の④～⑩と全く同じように折れば完成。(縦横が本体より大きいので、うまく収まるはずです)



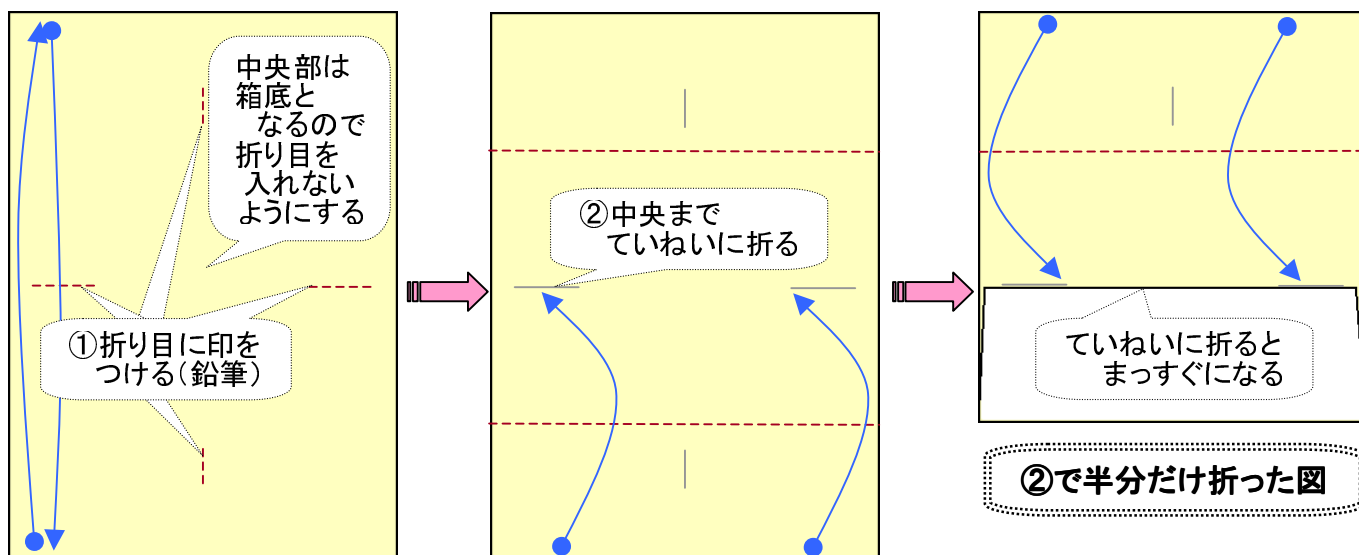
フタも本体と同じ形



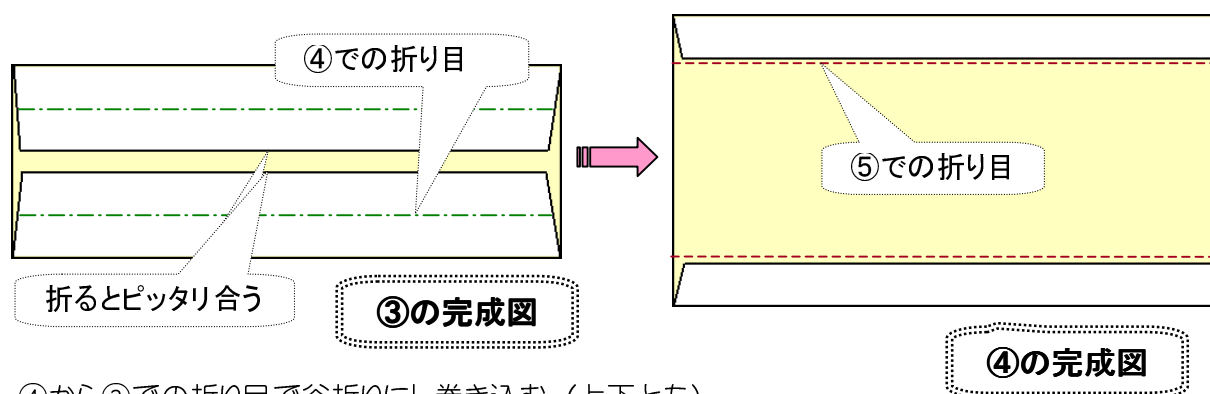
箱の完成図

隅平の干菓子入れ(A4用紙での折り方) B5、A5 でも良い

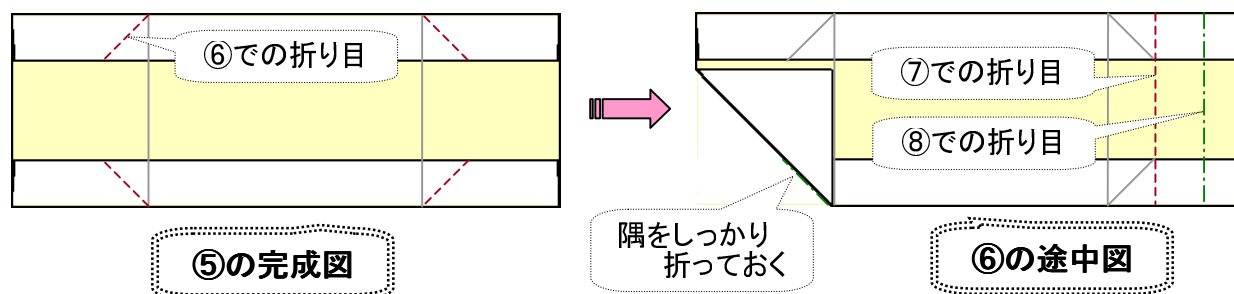
- ① A4の長辺および短辺の半分の位置に鉛筆などで印を入れる。(半分に折り、その折り目を使ってもよい)
- ② ①を広げ、長辺を縦に置き、広げ上下を中央に向けて丁寧に半分に折る。



- ③ ②を広げ、今度は長辺を横に置き、②と同様、中央に向け丁寧に上下を半分に折る。
- ④ ③を広げ、②の折り目のまで上下ともに半分に折る。(注意:決して②の折り目を越えないように)

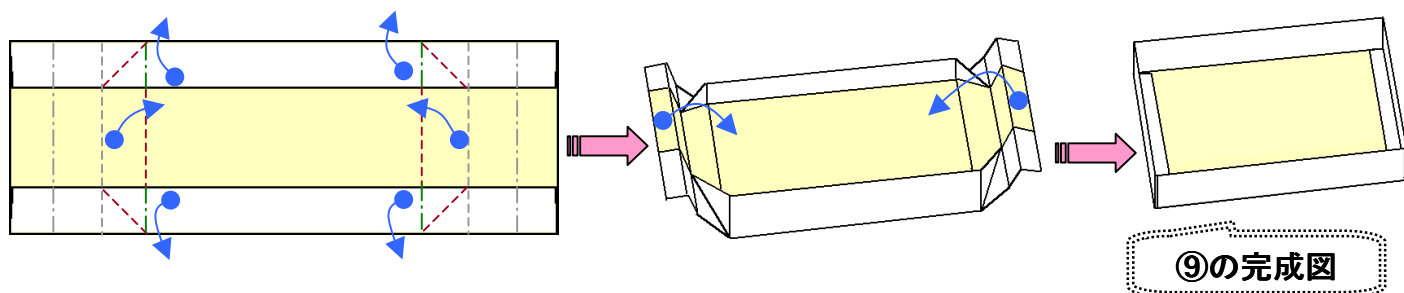


- ⑤ ④から③での折り目で谷折りにし巻き込む。(上下とも)
- ⑥ ②での折り目に合わせ、図のように⑥の折り幅を三角の折り目を入れる。(谷折りで丁寧に折りもどす。)



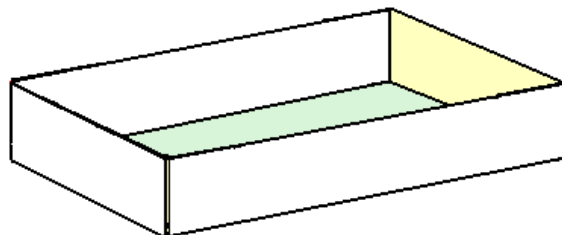
- ⑦ ⑥の状態、図のように三角の先端で縦に谷折りにしっかりと折る。
- ⑧ ⑦の状態、⑥図の三角の根元で縦に谷折りにしっかりと折り返し⑦⑧の折り目を入れ、⑥の状態にもどす。

- ⑨ 図の折線を使い立ちあげ、箱の形に整形し、次いで⑦⑧でつけた折り目を使い、箱の中に収める。



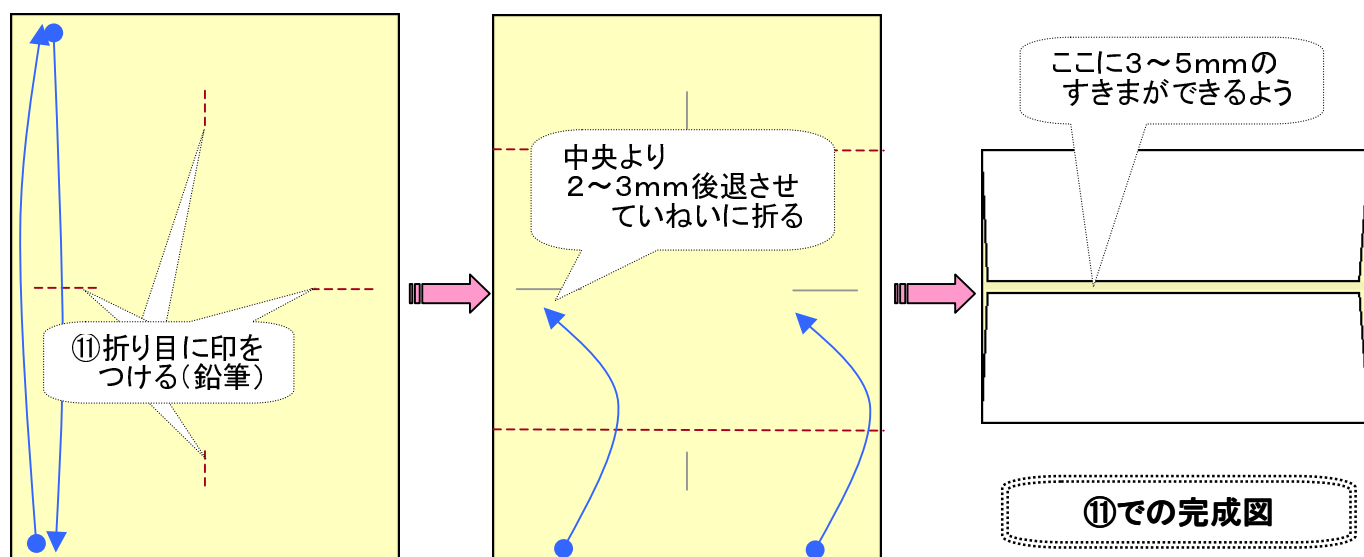
- ⑩ 箱の底面が、最初の紙の 1/4 の大きさなので、その大きさの底紙を入れれば完成。

隅平の干菓子入れ
本体の完成図
 そのままお盆としても使えます



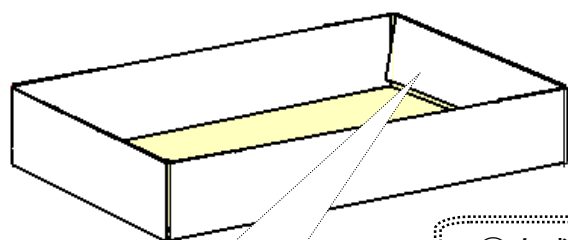
隅平の干菓子入れのフタについて

- ⑪ フタは本体より底面が大きくすれば良いので、本体の②の長辺の折り方で、本体は中央で会うように折りましたが、フタの場合は、それより3～5mm離れるように折る。

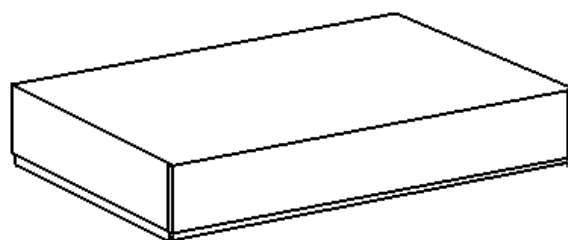


- ⑫ 本体の③についても、フタの場合は同様の折り方ですが、中央が3～5mm離れるように折ります。

- ⑬ 以下本体の④～⑦と全く同じように折り、⑧では折り返さず、フタなので最後に内側に折れば完成。



⑬完成図



隅平の干菓子箱 完成図